

# お元気ですか

# つかじさちのヘルシューン

第941号

日本共産党高知県議会活動報告  
2020年1月22日発行  
電話 088-823-9524(議会控室)  
088-843-9281(自宅)



高知県議会吉良富彦  
高知県議は6日、県議会で一般質問に立ち  
ピキニ被災問題などを  
たしました。  
県が昨年11月から取り組んだピキニ被災船員の健康相談会は全県で2人の参加にとどまっています。吉良氏は周知が徹底していないことなどを批判。3年前の前回の相談会は医師の健康相談にくわえ、太平洋核被災支援センターが生活相談にも取り組むなど、船員や遺族を励ます会となつたことに言及。前回と同様のやり方に戻すことや、地域を回つて、元船員や遺族に寄り添うことなどを求めました。鎌倉昭浩健康政策部長は元船員の意見も聞いて検討したいと答えました。

吉良氏は、新型コロナウイルス対策で追加予算を実現へ全力

ナウイルスの感染拡大防止のため延期になつたピキニ被災支援のための県のシンポジウムについて質問。吉良氏は、研究者などによる選考委員会を組織してシンポジウムの内容を決めるプロポーザルが、県の当初の説明に反して、実施されなかつたことや、34年間にわたって救済を求めて被災船員と歩んできた太平洋核被災支援センターがシンポジストや報告者として位置づけられていないことなどを批判。延期されたこともあり、仕切り直しをして同センターと連携した取り組みにするなどなどを求めました。

鎌倉昭浩健康政策部長は来年度に向けて仕切り直すと答弁しました。

## 吉良県議が質問

ピキニ被災

高知県議会吉良富彦  
ナウイルスの感染拡大防止のため延期になつたピキニ被災支援のための県のシンポジウムについて質問。吉良氏は、研究者などによる選考委員会を組織してシンポジウムの内容を決めるプロポーザルが、県の当初の説明に反して、実施されなかつたことや、34年間にわたって救済を求めて被災船員と歩んできた太平洋核被災支援センターがシンポジストや報告者として位置づけられていないことなどを批判。延期されたこともあり、仕切り直しをして同センターと連携した取り組みにするなどなどを求めました。

みんなさんとともに  
願い実現へ全力

高知城南のゆきりんに、銀光シ  
ーズン“風物詩”から春

お塙つくりにぼんぼり

新日本婦人の会が  
今年も



23日に県議会が開会します。16日に追加提案された新型コロナ対策予算の審議な

く

最後まで緊張の続  
く議会になつてしま

可。県民のみなさんの不安解消に一歩でも前進できるよう引き続き頑張っていきます。

No. 939

16日、辰男夫婦に

お子さんが誕生されました。

お子、母ともに元気な

つてない資金調査  
度も創設しても、充分

ではなく更に要望していきます。

一安心です。